

# あひらせ 気分は おまつり

## 街づくり公社……まちづくりフェア

街づくり公社では、豊島区のまちづくりの一層の推進を目的として、まちづくりフェアを開催します。

テーマは「としまのまちづくり、昔、今、未来」。

家づくり、街づくりに取り組む街づくり公社のはじめてのイベントとなります。ふるってご参加ください。

詳細については、豊島まちづくりニュース「みみづく」第2号（平成2年2月発行予定）に掲載します。

- 日時 ●3月3日(土)（午前10:00～午後5:00）  
場所 ●豊島区区民センター  
中池袋公園  
●記念講演（午後2:00～3:00）  
ケント・ギルバート  
「僕が見た街づくり」  
●昔、今、未来をテーマにしたたくさんの企画展示を行います。

## 3月の建替え相談所の日程が変わります

建替え相談所は、毎月第一土曜日に、雑司が谷区民集会室と南池袋区民集会室で交互に開催し、多くの区民の方にご利用いただいています。

今年の3月発行のまちづくりニュースで今年度の建替え相談所の日程をお知らせしてい

ますが、一部変更が出ましたのでお知らせします。

3月の相談所だけが、第1土曜日の開催から第3土曜日に変更になります。お間違いのないようにご注意ください。

南池袋区民集会室		2月 3日	
雑司が谷区民集会室	●1月 6日		●3月 17日

●は法律相談も行う日です

# 雑司が谷

## まちづくりニュース



26  
'90-2

## ■春のあしおとが聞こえます■

厳しい寒さが続いているが、いかがお過ごしでしょうか。春はもうすぐ。元気に冬をのりこえたいものです。

さて、不燃化促進協議会では、前号のまちづくりニュースで「緑のまちづくり推進事業」を提案しましたが、区に求めることとしてあげた4つの事項について、区では早速検討を開始し、すでにいくつかについては具体的な回答が寄せられています。

また、それに関連して、地区ではいくつかのまちづくり事業が始動を開始しています。今回は春にのぞみ、新鮮な話題をお届けします。

### ●企画・発行

雑司が谷地区不燃化促進協議会  
(財) 豊島区街づくり公社 担当／牛田、蒲地  
豊島区都市整備部街づくり推進課 担当／川尻、清水

### ●編集協力

(財) 都市防災研究所 担当／小川、小野

# 緑のまちづくり 推進事業

## 2本の柱

前号のまちづくりニュースでお知らせしたように、緑のまちづくり推進事業は大きな2本の柱として、「住民が主体的に行うこと」と「区が行うこと」から成り立っています。

まちづくりとは区が押し付けてやるものではなく、あくまで主体はそこにすむ住民であり、区としてはどうやってそのまちづくりを応援できるかを考えるべきと思うからです。すなわち、区民と区の協力がまちづくりを進める原動力になると考えられます。

2本の柱の内容は、具体的には次の表のよ

## 区に求めた4つの事項

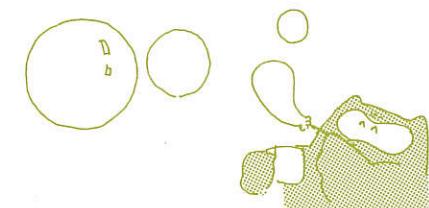
さて、緑のまちづくり推進事業の内容は、どれも比較的簡単な内容となっていますが、いざ、自分の身になってやろうとするといろいろな問題も生まれます。

いいことはわかっていても、それをやろうとすると、それ相当の予算が必要となります。また、これまでの生活様式にとらわれて、新しい様式になかなかじめないということもあります。

うに4つの事項から成り立っています。どれも比較的簡単な内容となっています。簡単なことの積み重ねで、着実なまちづくりを実践して行こうというのが、この緑のまちづくり推進事業の目的でもあるわけです。

### 緑のまちづくり推進事業の概要

区が行うこと	①公共施設の緑化 ②みちづくり
区民が行うこと	①ブロック塀の撤去 ②緑化の推進



そこで、区民が主体的に行うことについて、区としてできるだけ応援をしてもらうことと、区として積極的に取り組んで欲しいことについて、次の4つの要望をしました。

- ① ブロック塀撤去に別枠の助成を
- ② 生垣助成の基準の緩和
- ③ 公共施設の緑化
- ④ 「歴史と文化の散歩道」の展開

## 区からの回答

協議会からの4つの要望事項について、区では早速、関係各課と協議を行い、次のような回答を行いました。

### ①ブロック塀……既存制度の見直し

ブロック塀の撤去は、現在の所、生垣助成制度と狭い道路整備事業で行っています。助成の対象は、前者の場合、生垣造成とセットであることが必要であり、また、後者の場合、狭い道路の拡幅に伴う撤去でなけれ

ばならないという制限がありました。

今後、これらの制度を見直し、すべてのブロック塀を対象にその撤去を図るようにしたいと思います。

### ②生垣助成……接道部緑化に重点

現在の生垣助成の基準は、道路からの緑視率に重点を置き決められています。しかし、これからますます高度利用化が進むと思われる豊島区の実情に合わせ、現在の基準を大幅に緩和し、むしろ、接道部緑化という概念で

助成基準を見直ししていきたいと思います。

また、助成金額についても、現行の金額をさらに区民の皆さんのが利用しやすいように大幅に増額するように検討いたします。

### ③公共施設の緑化……積極的に検討を

公共施設の緑化は、立教大学地区で緑のモデル校として、池袋第三小学校の緑化工事が完成しており、その成果を踏まえて、今後、区内各所で展開していく予定です。

公共施設の緑化を図るべきところは、区内には非常にたくさんありますが、防災や景観

的に重要なところから進めていくことになると思われます。雑司が谷地区もそういった位置づけでは、区内でも重要な地区であり、また高い効果が期待される地区もあります。積極的に検討をして行きたいと思います。

### ④歴史と文化の散歩道……新たな制度の創設

歴史と文化の散歩道は、東京都の指定を受け、区が主な道について整備を行っている事業です。雑司が谷地区では、現在のところ、景観道路と墓地南側の道について整備を予定しています。

区では、それに付随して、区内全域を対象

に「歴史と文化と公園を結ぶ散歩道」を整備しようと計画中です。

ご提案の宣教師館から護国寺への道は、まさしく先の計画にぴったりの道路であり、積極的に検討していきたいと思います。

# トピックス

まちづくり協議会からの、「緑のまちづくり推進事業」の提案に合わせるように、地区では様々なまちづくり事業が展開されつつあります。それらのいくつかについて、ご紹介します。

## 雑司が谷中の緑化

雑司が谷中学で緑化事業が始まります。これは、一昨年行った正門廻りの工事にひき続いて、地元の方々の要望を受けて行われるもので

主な工事の内容は次のようになっています。  
① 南側の道路に面した境界を、道路からも

緑が見えるように緑化します。

この部分には、コブシやジンチョウゲ、カルミヤ、サザンカ、キンモクセイなどの



四季折々に花が楽しめる木をたくさん植樹します。

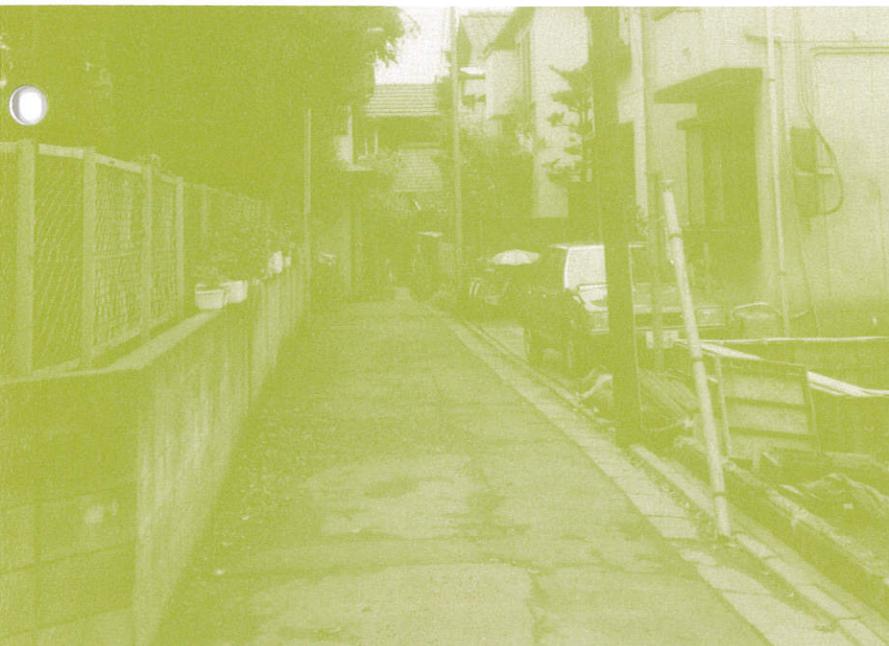
② 法明寺と体育館の間は、緑豊かな散策路として整備します。

この部分では、既存の樹木を生かしながら、ツツジやアセビなどの花木を植え、また舗装をインターロッキングにして快適な空間づくりに努めています。



④

## 雑司が谷児童館隣の区の資材置き場



⑤

## 敷地を後退

雑司が谷児童館の西隣の敷地は、現在、区の資材置き場となっていますが、西側の道路は幅員が4mに満たない道路となっていました。区では、4mに満たない道路（狭い道路）の整備を積極的に進めていますが、区の施設については率先して敷地の後退に取り組んでいます。

この度、向かいの敷地で建て替えがあり、敷地境界の後退が行われたのを機会に、区の敷地も併せて後退し、既存のフェンスは取り払い、生垣として整備しました。

雑司が谷児童館は、不燃化促進協議会から緑化整備の要望が出されている施設ですが、緑化の内容には敷地の後退も含まれています。そういった意味からも今回の敷地後退は、緑化整備に先立つ事業として位置づけられます。

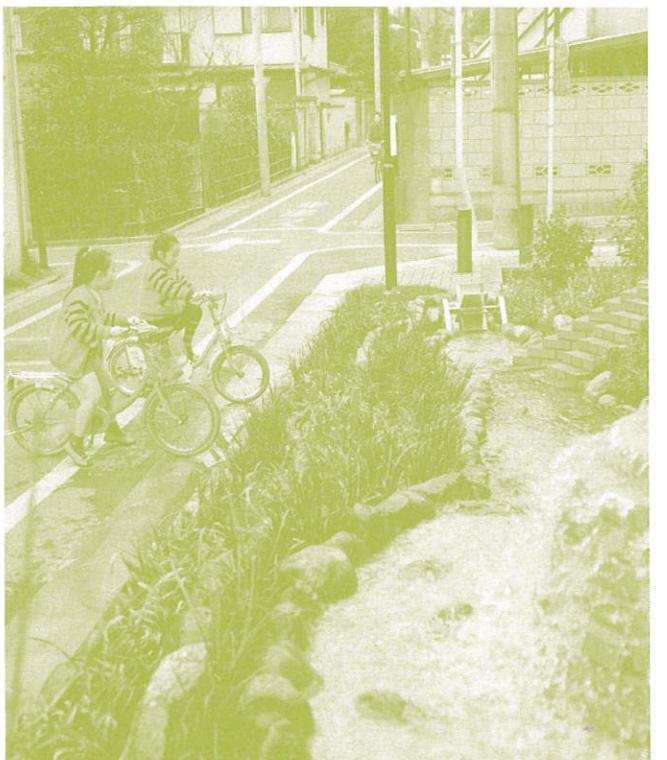


# ちょっと見 池三小 緑化完成

緑のモデル校として、6月から工事を進めてきた、池袋第三小学校の緑化工事がこの度完成しました。

この、池袋第三小学校は、区内のもうひとつの不燃化促進区域である立教大学地区にあります。立教大学地区でまちづくりに取り組む不燃化まちづくり協議会では、うるおいのあるまちづくりの一環として、区が住民に対してお手本を示してほしいとの主旨から、池三小の緑化を区長に要望し、今回の完成にこぎつけたものです。

池三小は以前は4周をフェンスで囲まれた学校でしたが、工事によって、校舎の隅の使われない空間などが整理され、街に開かれた「まちかど広場」を整備し、また歩道を学校内に通すなどして、緑にあふれた、開放的な学校に生まれ変わりました。



## 現場見学会のおしらせ

今年度、地区内では15棟の建物が完成あるいは建築中です。これらの工事の様子を直接見て、皆さんの建替え計画に役立てていただきたいと、今年も現場見学会を開催します。どなたでも参加できます。おさそい合わせの上、おでかけください。

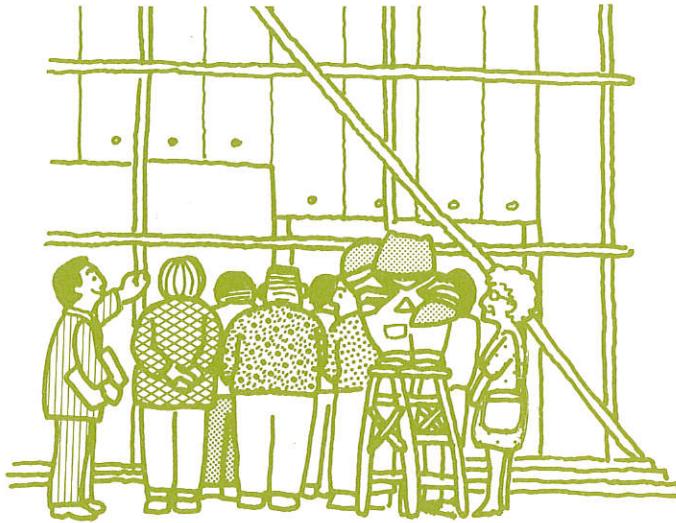
日 時：平成2年3月17日(土)  
午後2時～4時

集合場所：雑司が谷区民集会室 2時出発

区民集会室では建替え相談所を開催しています。

コース：下記のコースで見学します。

時間どおりに出発します。遅れた方はコースに従っておまわりください。



- 見学する建物
- ▲ 昨年までに完成した主な建物